



ねらい

- 子どもの身近な危険について知り、事故の防止、対処の仕方を学びましょう。
- 子どもの行動をあらかじめ予測して、事故の予防をする工夫をしてみましょう。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 60分 00:10	はじめのことば 3つの約束確認 アイスブレイク	<p>「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、家の中の身近な危険について、一緒に考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」</p> <p>「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんと作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」</p> <p>① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」</p> <p>② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」</p> <p>③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」</p> <p>「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、一緒にリラックスしましょう。」</p> <p>仲間集めゲーム 「これから出すお題の仲間で集まってください。声をかけあって仲間を見つけてくださいね。」 「お題は、子どもさんの年齢（月齢）です。」 「仲間が見つかったら座って、自己紹介をしてください。」</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。</p>  <p>◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。</p> <p>◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。</p> <p>◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聴き方を伝えると分かりやすいでしょう。</p> <p>◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう</p> <p>◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。</p> <p>◇15ページ「7 アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」 ⑩参照。</p> 
00:40	ワークショップ	<p>※年齢別グループでワークショップを行う</p> <p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みください。読み終えましたら、危険を感じた経験についてワークシートにメモしてください。」</p> <p><ワーク1> 「お子さんにまつわる危険を感じた経験について交流しましょう。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくとうよいでしょう。</p> <p>◇話し合いを進めるには、様々な方法があります。P10～を参考にしてください。</p> <p>◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。</p>

